

吉岡斉資料展

—日本の科学技術と原子力政策—

Hitoshi Yoshioka Archives



2025

6.11(水) - 8.6(水)

10:00-17:00
【休館日】土・日・祝日
*8.2(土)・3(日)は開催

九州大学 伊都キャンパス
フジイギャラリー

入場無料

【主催】九州大学大学文書館

【共催】九州大学附属図書館 【協力】NHK福岡放送局

吉岡斉資料展

2025

6.11(水) - 8.6(水)

10:00-17:00

【休館日】土・日・祝日
*8.2(土)・3(日)は開催

九州大学 伊都キャンパス フジイギャラリー

入場無料

吉岡斉氏(1953~2018)は、東京大学で物理学を学んだ後に科学史・科学哲学を専攻し、科学技術と社会との関係を深く掘り下げていきました。1980年代初頭から、科学技術の進歩を無条件に礼賛する考え方に異議を唱え、メディアを通じて活発に意見を発信するようになります。科学がもつ力が社会がどう受け止めるべきか、科学者は社会に対してどのような責任を負うべきかを問い続けました。

また、大学教員として教育にも熱心に取り組み、学生や市民との議論を通じて自身の考えを磨いていきました。2011年の福島第一原発事故後には、政府事故調査委員会の委員を務め、事故の検証だけでなく、その経験をもとに市民との対話を深めながら原子力政策のあり方に具体的な提言を行うなど、研究と社会実践の両方を重視した活動を続けました。

- 第1部：吉岡斉資料の整理プロジェクト
- 第2部：「膨張と忘却」に見る吉岡斉資料
- 第3部：九州大学での仕事
- 「吉岡斉科学技術史文庫」コーナー

【関連】NHK ETV特集「膨張と忘却 ～理の人が見た原子力政策～」紹介コーナー

2024年3月にNHKで放送された、吉岡斉氏が残した数万点の資料や、NHKが独自に入手した文書や関係者の証言などをもとに、国の政策決定の舞台裏に迫った番組。

・第50回「放送文化基金賞」ドキュメンタリー部門最優秀賞受賞

・第24回(2024年度)「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」文化貢献部門 大賞



【主催】九州大学大学文書館

【共催】九州大学附属図書館 【協力】NHK福岡放送局

電車でお越しの方

福岡空港

6分 福岡市地下鉄 空港線

博多駅

5分 福岡市地下鉄 空港線

天神駅

14分 福岡市地下鉄 空港線

姪浜駅

10分 JR筑肥線 ※唐津行、筑前前原行は乗換不要

九州大学研都市駅

15分 昭和バス

九州大学伊都キャンパス ビッグオレンジ または 中央図書館

3分 徒歩

フジイギャラリー

西鉄バスでお越しの方

博多駅前A

10分 西鉄バス 急行 九大伊都キャンパス行

天神ソラリアステージ前 (2B)
または 天神北 (3:フタタ前)

40分 西鉄バス 急行 九大伊都キャンパス行



当ギャラリーへは、公共交通機関でお越しください。

やむなく自家用車でお越しの方は、一時入構に際して入構料(300円)が必要です。

ビッグオレンジ前もしくは椎木講堂前にある守衛所にて、所定の手続きをお願いします。

※椎木講堂前守衛所は8:00-19:00のみ一時入構可

フジイギャラリー



【会場お問い合わせ】フジイギャラリー | 〒819-0395 福岡市西区元岡744 | Tel: 092-802-6973
E-mail: fujiigallery@jimu.kyushu-u.ac.jp | <https://fujiigallery.kyushu-u.ac.jp/>
最新の開館状況や交通アクセスについて、詳しくはフジイギャラリーのウェブサイトをご覧ください。

【お問い合わせ】九州大学大学文書館 | 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 | Tel: 092-642-2292
E-mail: syxsiryo@jimu.kyushu-u.ac.jp | <http://www.arc.kyushu-u.ac.jp/>

九州大学大学文書館

